



子供たちに伝えたい美しい日本語

石井式 育み文庫

絵／西山ひさ乃
作／のやまのこのこ

冬のあいだに



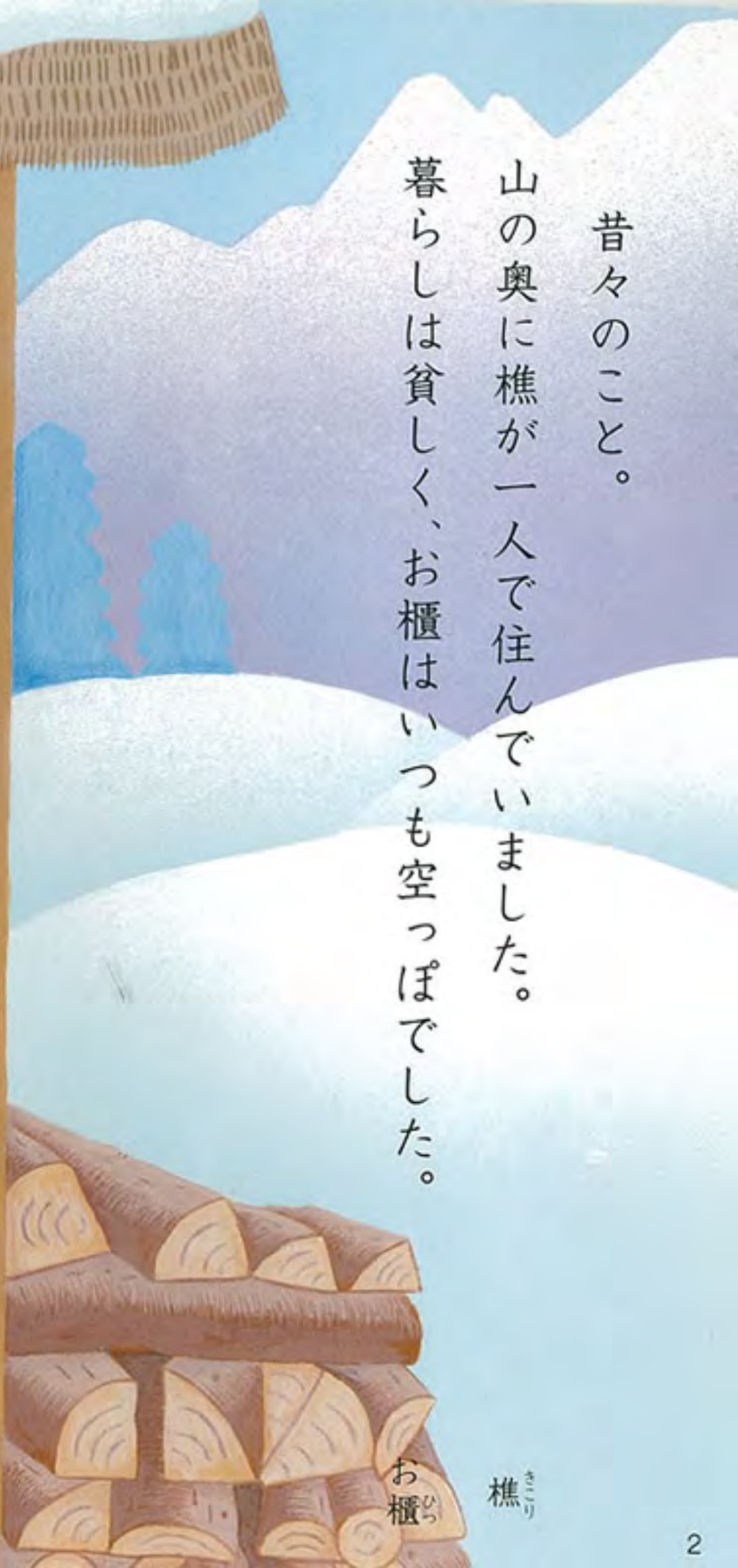
昔々のこと。

山の奥に樵が一人で住んでいました。

暮らしは貧しく、お櫃はいつも空っぽでした。

樵きり

お櫃びつ



竈かまど

水瓶みずがめ



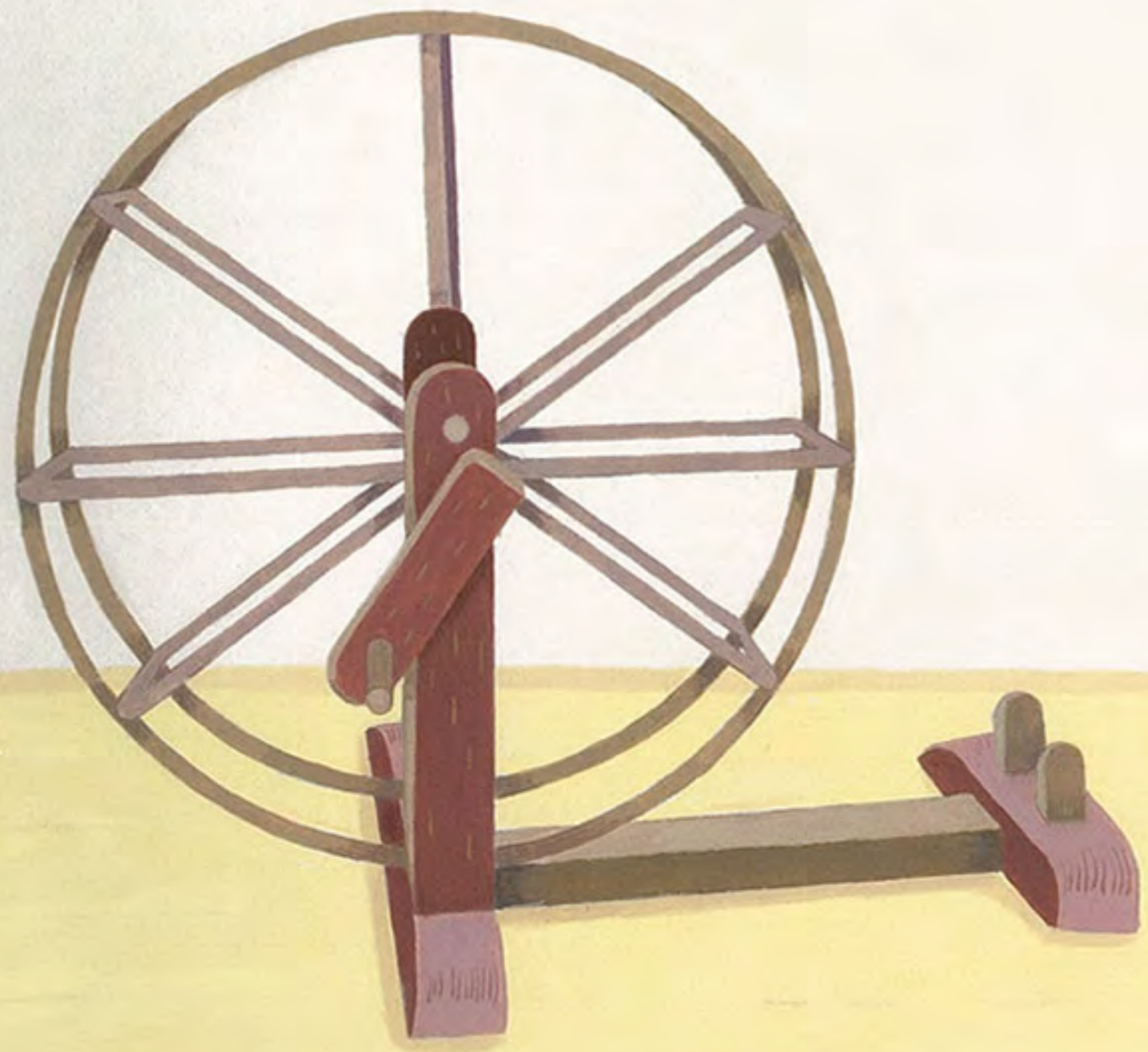
樵

お櫃



樵の家には、お母さんが使っていた
糸車がありました。

「この糸車で糸を紡ぐことができればなあ。
糸を売れば少しは暮らしも楽になるのに。」
と、つぶやきながら障子を開けた樵は
目をまるくしました。



糸車